

2023年7月14日 第3437回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 藤村 会長
<斉唱> 「我等の生業」
<ゲスト紹介> *米山奨学生 李世林様
*第1グループガバナー補佐 岡田英城様
<ビジター紹介> *出雲南ロータリークラブ 柳楽小百合様
<米山奨学生へ奨学金授与>

- <会長報告> *インターアクト海外研修募集要項について
日程：12月24日(日)～27日(水) 3泊4日
訪問先：台湾・台北(R1348地区)
派遣数：各校インターアクター2名
*規定審議会立法案(制定案)提出の依頼について 締切日：10月20日(金)

- <委員長報告> *インターアクト委員会 小山(陽)委員長から
ロータリーアクトクラブ/インターアクトクラブとの合同例会について

- <幹事報告> *ガバナー月信 No. 1
*例会終了後 親睦活動委員会 開催
*例会終了後 奉仕の基金プロジェクト委員会 開催

- <出席報告> *出席委員会 加賀本副委員長より7月14日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
120名	110名	85名(4名)	25名	3名	79.28%

<ニコニコ報告>

- ・柳楽小百合様(出雲南RC) 出雲南ロータリークラブより参りました。フルーティストの柳楽小百合です。こちらでは、金山小百合という名前で活動しております。本日は例会に参加させていただき誠にありがとうございます。
- ・岡田英城第1グループガバナー補佐 本日ガバナー補佐訪問で卓話させていただきます。よろしくお願い申し上げます。本年度「地区はクラブの為に」です。鈴木孝博補佐付幹事と頑張っていきます。宜しくお願い致します。
- ・比護、高橋、勝間、佐久間、長尾、濱田、柴田、齋藤(眞) 各会員
米山奨学生 李世林様、出雲南ロータリークラブ 柳楽小百合様 ようこそ横須賀ロータリークラブへお越しくださいました。例会をお楽しみください。
- ・三役 岡田ガバナー補佐、本日はよろしくお願い致します。
- ・木村、大石、児玉、大野(眞)、比護、小山(陽)、松本(剛)、椿、八木、石田、寺田、荻山、梁井、福西、中村(眞)、長島、権田、吉田、勝間、植田、前川、加賀本、小沢、田邊、若麻績、上林、南、渡邊、谷、杉浦、佐久間、畑、澤田、笠木、二瓶、長尾、田村、小林(眞)、濱田、野坂、飯塚、八巻、小佐野、鈴木(剛)、根岸、江沢、田中、前田、勝見、平松、山下、齋藤(眞)、小山(眞) 各会員
本日は国際ロータリー第2780地区第1グループ岡田英城ガバナー補佐の卓話です。どうぞ宜しくお願いいたします。
- ・曾我、加賀本、小平 各会員 7月7日、日本料理「あら井」にて出席委員会の親睦会を行いました。高橋隆一副会長、加藤元章カウンセラーにはお忙しい中ご参加頂き、誠にありがとうございました。また美味しいお酒もありがとうございました。今年度1年間どうぞ宜しくお願い致します。
- ・加藤(眞)、岡田(眞)、高橋、長尾 各会員 オールスターゲーム3年連続出場の大谷翔平選手「ベスト

MLB選手賞」の受賞もおめでとうございます。

- ・長尾、Robinson 両会員 バレーボールネーションズリーグ2023決勝トーナメントが始まりました。女子は惜しくも敗退してしまいましたが、男子は粘りのバレーで頑張ってください！
- ・小澤会員 仕事帰りですみません。

<卓 話>

国際ロータリー第2780地区

第1グループガバナー補佐 岡田英城様

ただいまご紹介いただきました第1グループガバナー補佐を務めます横須賀ロータリークラブ、地元の岡田です。よろしくお願いします。

まず、多くの皆様にご出席していただき、また多くのニコニコを入れていただきまして、高い席からですが、お礼申し上げます。本当に嬉しく思います。皆様の協力と支援を受け、頑張って1年間やっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

また、本日は藤村年度最初の卓話で、本当は私ではなく、お呼びしたかった方が多分いらっしゃるのだらうと思っておりますが、ガバナー公式訪問の2週間前にガバナー補佐訪問というルールですので、ご理解いただきたいと思っております。

本日のテーマは「ガバナー公式訪問に備えて」ということで、本年度の田島ガバナーは「地区はクラブのために」を前面に出して行こうというお話をしておられます。今までの卓話はガバナー補佐の裁量に任されていて、自らの生き立ちや、いろいろなことをテーマにしていますが、今年度はメッセージを統一してお伝えしようということにしました。私の話の後に15分程度の田島ガバナーからのビデオレターを視聴していただき、最後に少しまとめに入らせていただきたいと思います。

まず自己紹介ということですが、私のことは嫌と言うほど知り尽くしていらっしゃると思っておりますので、極簡単にいたします。ロータリークラブへは2004（平成16）年に入会させていただきました。1961（昭和36）年生まれで62歳です。横須賀ロータリークラブの平均年齢が62.6歳ですので、平均以下のまだヒヨコです。一昨年、会長を務めさせていただきましたが、様々な役職を経験させていただきましたことに改めてこの場をお借りして感謝申し上げます。

さて、今年度のテーマは「世界に希望を生み出そう」Create Hope in the Worldということで、私はCreate Hopeというのはロータリー自身がCreate Hopeではなかろうかと思っています。いろいろな活動をして行き、いろいろなCreate Hopeを生み出そうということではないかと思っています。

「データで見る世界のロータリー」ということですが、世界にはおよそ120万人のロータリアンがいます。クラブ数は37,005クラブ、地区数は520地区、つまり520人のカバナーがいらっしゃるということです。国と地域は200国以上、クラブ数が37,005クラブと正確な数字で示されている訳ですから国も最後の一桁まであって然るべきと思うのですが、国の概念がいろいろあるのかなと改めて思いました。横須賀ロータリークラブは年会費が18万円と地区で一番安いですが、平均的に1人当たり25万円の年会費とすると、ロータリアンはおおよそ120万人いますから、年間で3千億円ものお金が奉仕に使われているということは特筆すべきことだと思いますし、会員の会費で成り立っていることと運営も我々自身で行っていることがロータリーの素晴らしいところであると思っています。

「データで見るローターアクト/インターアクト」ですが、世界のローターアクト総数は約17万人、インターアクトは約44万人ということでローターアクトは160国、インターアクトは150国以上に展開されています。右側の写真はエノラさんがやられている「ジャクソンビルビーチローターアクト」の皆さん



です。かなり盛り上がってしまっていて100人の会員を擁するローターアクトがあつたりという形になっているところが今多いということです。

「世界規模の活動！」としては140万人、奉仕の時間が4,700万時間ということで、これを1人で行うと5,365年掛かりますが、140万人で行っているということが数の力というかロータリーの素晴らしさではないかと思っています。

「データで見る日本のロータリー」ですが、日本のロータリアン総数は86,873人、クラブ数は2,236クラブ、34の地区があります。

そして、「2780地区について」は、『地区はクラブのためにある』というメッセージを出して行きます。2780地区とは神奈川県でいえば川崎と横浜を除いた他の市町であり、横須賀市は県の東側になりますが、第1グループです。第2グループが鎌倉、第3グループが藤沢、第4グループが茅ヶ崎、第5グループが相模原、第6グループが大和、第7グループが伊勢原、第8グループが平塚、第9グループが小田原となっています。ロータリアンの総数は今年5月の末で2,379名、女性会員は312名と総数に占める割合は13.1%という状況になっています。そして、第1グループは横須賀、横須賀北、三浦、横須賀西、横須賀南西の5クラブで、5月末の会員数は209名ですが、それから15乃至16名増えていると思いますので、現在は220名を超えていると思います。そして地区の委員会ですが、今年度は32委員会あります。地区協議会での小沢元RI理事による地区が肥大化しているのではないかと指摘もあり、これをスリムにして行こうということで役割と権限をもう少し絞って行こうという形で、地区でしかできないこと、地区ではなくてもクラブでできることを今年1年間いろいろ考えて進めていきたいと思っています。地区でなくてはできないことの委員会を紹介させていただきます。

「クラブ管理運営委員会」には小山陽生会員が副委員長として出ていますが、「地区はクラブのためにある」ということをコンセプトに掲げて、各クラブに寄り添うことでクラブのサポートを強化して元気なクラブ作りの一助になることを目指しています。いろいろなデータを集めて、どういうことが起こっているのかということ、このクラブ管理運営委員会で把握して行こうということです。

青少年奉仕として「ローターアクト委員会」、「インターアクト委員会」、「青少年交換委員会」、「ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)委員会」の4つの委員会がありますが、これは私たちが青少年のために教育の機会を広げて若い世代のリーダーシップを伸ばして行こうという活動をしている4委員会です。横須賀ではインターアクトクラブを持つ三浦学苑を我々もサポートしていますが、地区には12の高校生のクラブがあります。しかしながら、公立高校ですと校長先生が変わると活動が停滞したり、盛り上がりなど様々な問題がありますが、コロナで部活動が無くなってしまったということもあり、まだまだやらなくてはいけないことがあると思います。今年度は台湾への研修旅行が再開されると思います。また、ローターアクトが5クラブあります。2023-24年度は横須賀ローターアクトクラブが年次大会を主幹します。ここには齋藤秀人会員が副委員長として地区に出ていますので、多くの皆さんに参加していただきたいと思います。

そして「青少年交換委員会」を3年振りに開催できました。イタリア、フランス、ドイツ、スウェーデン、カナダ、デンマーク、ブラジル、メキシコ、台湾の9カ国と交流します。三浦学苑の生徒が合格していましたが、残念なことに体調不良ということで辞退されました。しかし、台湾から1名来られまして八巻会員がカウンセラーをされるということですので、是非皆さんでホストファミリーなどをして盛り上げていただきたいと思います。

「ロータリー財団委員会」ですが、このロータリー財団は我々の会費や寄付金などによる資金調達を通じて、世界的な規模で様々な社会奉仕プロジェクトを支援しています。この予算ですが、世界中から540億円もの寄付をいただいています。それを一括管理して皆さんの方にお戻しして様々なプログラムを展開していくという内容です。驚いたのは一昨年の運用益が265億円もあったことです。こんなに運用益があるのは凄いなと思いましたが、逆に去年は90億円も損しているなどダイナミックだと改めて感じました。この支出が478億円あるのですが、その中でポリオに対して220億円支出しているということとグローバルに活動しているところに105億円、そして横須賀ロータリークラブもVT活動をしていますので、横須賀に対して2,300万円のお金をいただいています。円安になってるので最後に900万円位入るのではないかと思っています。そのような活動で我々も寄付したものが返ってくるというように思っています。横須賀ロータリークラブも10年間で26万ドル位の寄付をしています。1ドル110円換算で2,900万円ですが、

円高の時に寄付していますので、今は円安なのでかなりの額が戻ってくるのではないかと考えています。そしてロータリー奨学生も1年から2年間行くと420万円の学費を出したり、1年間ですと350万円です。奨学生の中で有名な方ですと国連難民高等弁務官であった緒方貞子さんですとか、国連事務次長を務められている中道泉さんがいらっしゃいます。

そして「米山奨学委員会」ですが、日本の独自のやり方で34地区全員で日本で学ぶ外国人留学生を支援するという形です。全国で880名の方を支援させていただいています。2780地区は29名の方を支援していて、毎月10万円、修士・博士課程の方には14万円の奨学金を授与しています。どの国が多いかという今年中国375名、次いでベトナム140名となっています。2780地区で見ると、中国、台湾、韓国、サウジアラビアなどになっています。中国というと反対される方もいますが、将来時代も変わると、奨学生たちが日本との懸け橋になるのではないかと考えています。横須賀ロータリークラブの奨学金の寄付状況も10年間で3,500万円の寄付を皆さんからいただいているという状況です。

「My Rotary」の登録率は60%です。

「世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)」には220億円を費やしています。この活動は1979年から行っています。私が子供の頃には小児麻痺の方が少なからずいらっしゃったと思いますが、世界からの根絶まであと少しのところまで来ています。ビル&メリンダ・ゲイツ財団が2007年から一緒に活動していますが、小沢会員がRI理事の時に、ロータリーだけでやろうという話がありました。しかし小沢RI理事の「手柄を争っている場合ではない！」という発言があって、ビル・ゲイツたちを招いて協同して活動を行うという現在の状況になった訳です。

ではここでガバナーから届けられたビデオレターをご視聴ください。

【田島第1グループガバナーからのビデオレター放映】

皆さん、こんにちは。本年度ガバナーの田島敏久でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず私の自己紹介をさせていただきます。私は1943(昭和18)年12月2日生まれの79歳で、職業分類は産婦人科医師です。東京慈恵会医科大学を卒業後の略歴はご覧の通りであります。

本年度の私のテーマは、「若者と希望：メンタルヘルスで和の世界を生み出そう」であります。もちろんこのテーマはRI会長の方針を受けた決定でございます。私たちが得意とする継続と同時に変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーがより平和でより希望のある世界を築くサポートになると思います。

ここで本年度のゴードン・R・マッキナリーRI会長をご紹介します。ゴードン・R・マッキナリーRI会長はSOUTH QUEENSFERRY RCの歯科医師です。では本年度のゴードン・R・マッキナリーRI会長のテーマならびに考え方をご紹介します。

ゴードン・R・マッキナリーRI会長の方針は、「CREATRE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう」であります。スピーチでも分かるように、ポイントは次の通りでございます。

2023-24年度のRI方針は、「継続と変化」であります。継続と変化、平和と希望、ローターアクトクラブと協力すること、女性エンパワーメント/DEIの促進、ポリオ根絶、行動計画の実践、メンタルヘルスであります。ローターアクトクラブと協力、過去数年間ローターアクトに力を与えると約束し、ロータリーの全面的なパートナーとなりました。ローターアクターはリーダーとなることへの熱意を示し、私たちロータリアンを勇気づけています。ロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し、支え合う新しい方法が見つけられるかどうかは、私たちロータリアンにかかっています。

女兒のエンパワーメント/DEI促進。世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるようサポートしたいと思います。単に、会員数を増やすことを意味する訳ではありません。DEIの最も重要な側面は、ロータリーを、どこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。ゴードン・R・マッキナリー会長は、ロータリーが平和やメンタルヘルスのために活動し、世界に希望を生み出すよう呼びかけています。また、そのためには対話を通じて信頼を築くことが重要であると訴えております。

ロータリーの活動の原点はクラブにあります。地区ではありません。RIはロータリー活動のルール・方向性を示すことが原点であると考えられます。したがって、クラブ活動を中心としたチームを示したいと思

います。ロータリーのビジョン声明は、「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します。」です。

地区優先事項とは、次の4つであります。

1. 地域社会の変化とニーズを的確に捉える。2. 地域社会にインパクトをもたらす。3. 多様な人々との出会いとつながりを大事にすること。すなわちインクルーシブ。4. 積極的に行動します。となります。

次に本年度の重点目標と運営方針についてご説明いたします。重複しているところもありますが、重点目標として6項目、運営方針として9項目あります。まず重点目標をご説明いたします。

1. 会員増強を強化推進すること。女性会員比率20%期待・若い世代の会員増強をすること。2. ロータリー賞への積極的なチャレンジをすること。3. End Polio Nowを継続実施すること。4. My Rotary登録率を向上させること。5. ロータリー財団への年次寄付/米山奨学会寄附。6. ローターアクター、青少年および米山奨学生とロータリーとの結びつきを強化すること。

次に運営方針をご説明いたします。1. RI会長・GORDON 声明の戦略強調事項の推進/優先事項の実施。2. 会員増強・維持・新クラブ拡大をすること。3. 青少年の育成。4. ロータリー財団へ年次寄附をしましょう。5. 米山奨学会寄附をいたしましょう。6. ポリオ根絶の推進をいたしましょう。7. 『1CLUB 1PROJECT』の継続と奉仕プロジェクト支援。8. 各グループAG指導の基IM実施予定。9. クラブ戦略ビジョン策定推奨。RI会長・GORDON 声明の戦略強調事項の推進。ゴードン・R・マッキナリー会長は、ロータリーが平和やメンタルヘルスのために活動し、世界に希望を生み出そうと呼びかけています。また、そのためには対話を通じて信頼を築くことが重要であると訴えております。

会員増強・維持・新クラブ拡大。1. 和をもって貴しとなす精神で、例会出席が楽しく、奉仕活動は積極的に地区補助金を利用する。更にグローバル補助金利用を考えることが会員維持増強につながると思っています。各クラブの目標設定は5%から7%台を期待したい。2. 女性会員の増大の期待20%台。

青少年育成。1. インターアクト支援。更なる新しいクラブの拡大。2. ローターアクトクラブ支援・拡大協力関係を持つこと。3. 青少年交換事業の理解と応援。3年振りの事業展開を本年度再開いたしました。

ロータリー財団への年次寄付をいたしましょう。

奉仕活動はフットワークか寄付のいずれかで頑張りましょう。目標1. 地区年次寄付200ドル/1名。目標2. ZERO CLUB、ZEROの継続と全会員寄付の達成。目標3. 恒久基金1,000ドル以上/1クラブ。目標4. 米山奨学会寄附。国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的とし、将来母国に戻り、日本との懸け橋となっただき、ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となるように支援をいたしましょう。寄付の目標は1名で2万円以上、普通寄付と特別寄付と考えております。

ポリオ根絶の推進。ポリオ根絶キャンペーン促進。ポリオデー、10月25日、2780地区でチャリティーコンサートを実施する予定でございます。よろしく協力をお願いいたします。指導はAGになります。

2. ポリオ寄附の推進。目標10万ドル：40ドル/1名。

『1CLUB 1PROJECT』の継続と奉仕。2019-20年度のテーマ『1CLUB 1PROJECT』を継続推奨します。

各グループAG指導の基、IMを実施。各グループにおかれましてはIM実施に向けた早期企画をお願いいたします。

クラブ戦略ビジョン策定の推奨。各クラブでは今後5年間の中間ビジョンを策定し、それを実施するための各クラブに戦略計画委員会を立ち上げ、活動をしていただきたいと思います。

最後に基本理念についてお話いたします。私たちのモットーは「超我の奉仕」です。118年以上前から続く我々の基本理念・中核的価値観は、1. 奉仕活動、2. 親睦、3. 多様性、4. 高潔性、5. リーダーシップの5点を根幹としてきました。

我々ロータリアンは、世界の困難な問題について行動を起こす責務を超我の奉仕の精神で共有していると信じています。

さあ皆さん、1年間よろしく願いいたします。

田島ガバナーからのビデオレターは以上ですが、再来週ガバナーが見えられた時にはより詳しい説明を聴くことができると思っています。

今年、第1グループでは会員一人ひとりの満足度向上ということを行っていきたいと思っています。ロータリークラブは一人ひとりの会員、そして会員一人ひとりの活動で成り立っていると思っています。よって、一人ひとりの満足度の向上が無ければ、この活動は続かないのではないかと思います。やはり、原動力は人、つまり会員だと思っています。人は資源であるとよく企業では言いますが、私は資源・リソースではなく、ソース・源泉だと思っています。資源ですと使う側の人によって違う訳ですが、ソースは源泉なのです。源泉として湧き出るエネルギーというものがロータリーの皆さん一人ひとりにあると思っています。そういう皆さんが活躍できるような場にできればいいと思っています。DEI つまり Diversity, Equity & Inclusion、多様性・公平性・包括性ということで、ロータリークラブは背景が異なる人たちの集まりで、単一の価値観でない自由で開かれた組織だと思っています。このネクタイをもって単一性がないといっても、全員している訳ですけども、それはちょっと置いておいて、いろいろな価値観がある人たちの集まりだと思っていますので、ぜひ今年度は藤村会長を中心とした開かれた組織で活動してもらいたいと思っています。

ロータリーが百何年も続いているのは、「4つのテスト」のお蔭であると思っています。「真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか」に真髄があると思います。ここに帰って行けば結果はすぐに出るのではないかと思います。

最後になりますが、今年は世界大会がシンガポールで開催されます。マーライオンがあり、マリーナ・ベイサンズがあります。マリーナ・ベイサンズが主な会場になるということを聞いています。藤村会長、来年度の会長の高橋副会長を中心として、多くのメンバーの皆さんでシンガポールに行きたいと思っています。ぜひ多くの皆さんに参加していただきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

駆け足での卓話となりましたが、ご容赦いただきたいと思います。以上をもちまして私のガバナー補佐訪問とさせていただきます。

本日は多くの皆さんにご静聴いただき、ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 藤村会長

週報担当 大石 朗